



ASSESSMENT OF TECHNOLOGY  
FOR BUILDING CONSTRUCTION

GBRC 性能証明 第 11-01 号 改 3

## 建築技術性能証明書

技術名称：MS 工法

— 格子状浅層地盤改良工法 — (改定 3)

申 込 者：株式会社ヤマダホームズ 関連事業部 本部長 原田 正秀  
東京都新宿区西新宿 7 丁目 15 番地 6 号 KS SQUARE 4 階

技術概要：本技術は、べた基礎の小規模建築物に適用対象を限定した浅層地盤改良工法であり、地盤を格子状に掘削し、この掘削土にセメント系固化材を添加して混合した改良土をランマーで締め固めながら埋め戻して、格子状の改良体を築造する工法である。

開発趣旨：本技術は、べた基礎の小規模建築物を対象として、表層付近の軟弱土層に壁状改良体を設けることで、鉛直支持力の向上と沈下の低減を期待した工法であり、さらに、狭小地での施工性の向上、既往の全面浅層地盤改良工法に較べて掘削量と使用固化材量を低減することによるコスト縮減と環境負荷低減をも意図して開発したものである。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。なお、本証明の有効期間は、2027 年 3 月末日までとする。

2024 年 3 月 26 日

一般財団法人 日本建築総合試験所  
理 事 長 川 瀬 博



記

証明方法：申込者より提出された下記の資料および施工試験の立会確認により性能証明を行った。

資料 1：MS 工法 性能証明のための説明資料

資料 2：MS 工法 設計基準・施工管理基準

資料 3：試験資料

資料 4：更新資料

資料 1 には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。

資料 2 は、本技術の設計・施工管理基準であり、設計フロー、支持力度算定式などの設計方法の他、改良体の諸元、施工方法および施工管理方法などが示されている。

資料 3 には、資料 1 で用いた個々の載荷試験結果や立会施工試験報告書などが取りまとめられている。

資料 4 には、施工実績や運用体制の維持状況などがまとめられている。

証明内容：申込者が提案する「MS 工法 設計基準・施工管理基準」に従って施工された改良地盤の長期荷重時の鉛直荷重に対する支持能力は、同基準に定めるスクリュウウエイト貫入試験結果に基づく支持力度算定式で適切に評価できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。